

施策を構成する事業評価

No.	16	担当課	社会教育課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	1	生涯学習活動を推進します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	生涯学習講座の充実	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.2.110087(成人学習費)
事業概要	<p>・生涯にわたりいきいきと暮らせるように、多様化するニーズに沿った各種講座を開発する。また、各種講座をきっかけに生涯学習として続けられるようグループの自主活動を支援する。</p>		
取組内容・結果等(D)	<p>・15歳以上を対象とした「ステップアップ講座」は、35講座で受講生を募集した結果、28講座が開講し、受講者は383名(前年比8人増)であった。 ・65歳以上を対象とした「ことぶき講座」は菊川地区、小笠地区の区分で募集し、受講者は菊川地区27名、小笠地区18名(計45名、前年比増減0)であった。</p>		
課題・問題点等(C)	<p>・ステップアップ講座は35講座を企画したが、7講座は最低受講人数を満たさず開講できなかった。 ・一部の講座は地区センターを会場としているが、台風接近時等に避難所が開発された場合、教室の運営に影響する可能性がある。また、夜間の講座において受講生に急病等が発生した場合、講師以外に対応ができる職員等が不在となる。</p>		
今後の方向性(A)	<p>・講師の選定方法を見直し、これまで原則として応募者全員を採用していたが、いったん講師名簿に登録し、名簿の中から指導分野や過去の開講状況等を踏まえて選定する方式とする。 ・ステップアップ講座の開催会場を見直し、中央公民館・アエルの2会場とする。</p>		

事業名(中分類)	生涯学習活動団体支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.2.110086(生涯学習まちづくり費)
事業概要	<p>・市内在住・在勤、市出身者のうち、優れた知識や技能を持つ方に呼びかけを行い、ボランティア講師名簿(生涯学習人材バンク名簿)を作成する。市内の個人や地域団体が行う生涯学習活動の講師として活用を図り、市民の生涯学習を支援する。</p>		
取組内容・結果等(D)	<p>・登録者に対し継続の意向を確認するとともに、新規登録者を募集し、46名(前回比-11名)から登録をいただいた。登録した講師のうち、活動のあった講師は14名であった。 ※名簿の見直し作業は2年に1回実施。</p>		
課題・問題点等(C)	<p>・広報誌での周知や、地区センターや園・学校等への名簿送付等を通じて、人材バンクの認知度向上に取り組んでいるが、活用実績が向上していない。</p>		
今後の方向性(A)	<p>・地域における生涯学習活動や、学校での教育活動、保護者による学習等を推進するため、引き続き人材バンク制度を実施し、各事業の充実を図る。 ・家庭教育学級の講師候補としての紹介や、地域学校協働活動においてボランティア講師を依頼する等、連携が可能な事業での活用を呼びかける。</p>		

施策を構成する事業評価

No.	17	担当課	図書館
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	2	読書環境の整備に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	読書環境整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.6.110106(図書館管理費) 10.5.6.110869(図書館総務費)
事業概要	市民のニーズに対応するために計画的に蔵書を管理し専門性を備えた職員を育成すると共に、書架整理やおはなし会等に携わる図書館サポーターと連携し、市民協働による図書館運営を推進していく。		
取組内容・結果等(D)	広報研修、運営研修、情報研修、レファレンス応用研修、児童・青少年サービス研修相互貸借担当者会等の専門研修や情報交換会、図書館大会に参加し、職員の専門性を高めることに努めた。 除籍した資料の有効活用としてリサイクル市を両館合計で4回+イベント内で1回開催した。 デジタル化した資料の取扱いに関する要領を策定した。		
課題・問題点等(C)	図書館サポーターや読み聞かせボランティアの育成・交流の場が必要である。		
今後の方向性(A)	職員が積極的に研修等に参加し専門性を高めるとともに、ボランティアの育成を図る。		

施策を構成する事業評価

No.	17	担当課	図書館
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	6	生涯にわたり学べるまちづくり
施策名	3	読書機会の提供・読書活動の啓発に努めます

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	多様な図書館サービスの提供事業	予算事業番号 (予算事業名)	10.5.6.110869(図書館総務費)
事業概要	利用者に応じたサービスが行えるよう、バリアフリーサービス・多文化サービスを推進し、利用者が必要とする情報・資料などの求めに応じて、資料を検索・提供・回答するレファレンス機能を充実させる。利用者の求める資料を自館で所蔵していない場合、資料を他館から借り受け利用者に提供するサービスである協力貸出・相互貸借により対応する。		
取組内容・結果等(D)	外国語図書や点字付き絵本の収集を行い、外国籍や障がいのある子ども達に配慮した読書活動を行った。 カウンターにコミュニケーションボード(日本語・英語)を配置した。		
課題・問題点等(C)	障がいの状態や発達段階等、子どもの興味に応じた資料が提供できるような資料収集が必要だが、LLブック(やさしくわかりやすく書かれている本で、文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人がやさしく読めるような内容)等の蔵書冊数が少なく充実していない。 レファレンス事例をまとめることにより、需要の多い質問等に対して、予め必要な資料を準備しておけるような環境が必要である。		
今後の方向性(A)	教科書改訂に伴う新指導要領に則した資料の収集。 より実務的なコミュニケーションボードの作成。		